

## 鹿ノ台地区コミュニティバスの実証運行について

## 1. はじめに

鹿ノ台地区コミュニティバスの実証運行について、鹿ノ台自治連合会から、連合総会（注）における投票の結果、下記のとおり賛成多数であったとの報告があり、併せて実現に向けての支援の要望があった。（令和3年8月6日付け）

代議員総数	投票総数	賛成票	反対票	無効票
192名	189票	163票	25票	1票
-	100%	86.3%	13.2%	0.5%

（注）鹿ノ台全11自治会の役員（代議員）からなる最高の議決機関（鹿ノ台自治連合会会則）

## 2. 対応方針

鹿ノ台地区からの要望を受けて、本協議会では本資料実施スケジュールのとおり進めることとする。以下、実証運行の内容を記載する。（令和2年度第6回協議会資料から抜粋・一部加筆）

## ●概要

- 運行主体：生駒市がバス事業者へ委託（現在のたけまる号と同様）
- 運行経路：鹿ノ台内を巡って学研奈良登美ヶ丘駅を往復
- 運行日数：週3日（月・水・金：年間144日＝3日/週×4週/月×12か月）
- 運行時間：10時台～15時台
- 運行回数：8便/日（25分/便）
- 運賃：190円（鹿ノ台から学研奈良登美ヶ丘駅までの路線バス運賃と同額）
- 自治会負担：生駒市コミュニティバスの運賃200円との差額10円、  
既存路線バスと重複する区間の運行経費の1/2は自治会負担

## ●利用者の想定（H29年度アンケートによる）

週3日運行：60人/日×144日＝8,640人/年

## ●収支計算（自治会等負担）

- ・自治会の負担額（1）：運賃収入に相当

生駒市のコミュニティバス運賃との差額10円を自治会が負担

10円 × 8,640人/年 = 86,400円

→自治会会員世帯2,560世帯では、約34円/世帯・年の負担となる。

- ・自治会の負担額（2）：運行経費に相当

路線バスと重複する鹿ノ台東1丁目～学研奈良登美ヶ丘駅間の運行経費の半分を自治会が負担

1.0km（鹿ノ台東1丁目～登美ヶ丘駅）÷ 6.35km（1便当たり運行距離）＝ 15.7%

年間運行経費5,100,000円 × 15.7% × 50.0% = 400,350円

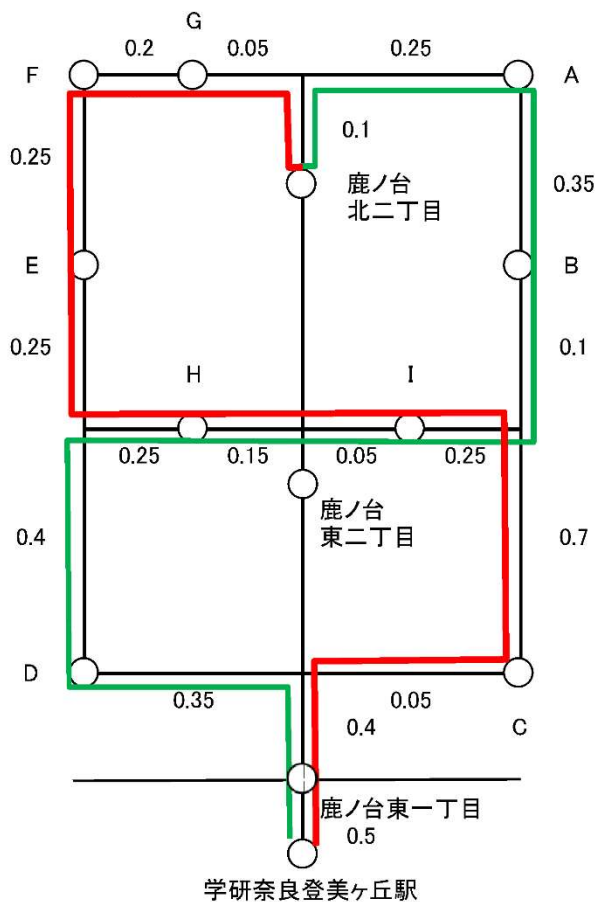
→自治会会員世帯2,560世帯では、約156円/世帯の負担となる。

★自治会の負担額の計（1）＋（2）＝ 486,750円

→自治会会員世帯2,560世帯では、約190円/世帯の負担となる。

項目	計算値	備考
日利用者数想定	60 人/日	①
運行日数	144 日	②
年間利用者数	8,640 人	$a=① \times ②$
運賃	190 円	b
他のコミュニティバス料金との差額	10 円	p
年間収入	2,128,350 円	$A=c+d+e$
利用者運賃支払額	1,641,600 円	$c=a \times b$
自治会支払い額(料金差額負担)	86,400 円	$d=a \times p$ 自治会負担(1)
自治会支払い額(重複区間経費負担)	400,350 円	e 自治会負担(2)
運行経費	5,100,000 円	B 事業者見積額
生駒市負担額 (生駒市負担率)	2,971,650 円 58.3%	$C=B-A$ $C \div B$

●運行経路案



登美ヶ丘駅～D・H・I・B・A・北二丁目・G・F・E・H・I・C～登美ヶ丘駅 6.35km  
登美ヶ丘駅～C・I・H・E・F・G・北二丁目・A・B・I・H・D～登美ヶ丘駅 6.35km

●実施スケジュールについて

(令和3年度)

- ↓ 8月 地区内合意形成
- ↓ 9月 方針決定
- ↓ 11月 バス停位置の検討・予算要求
- ↓ 12月 運行計画決定
- ↓ 3月 議会・予算決定
- ↓

(令和4年度)

- ↓ 4月 実証運行事業者選定手続き開始  
(業者選定作業、運輸局手続き資料準備)
- ↓ 6月 事業者決定  
(運輸局手続き、バス停設置、広報周知等)
- ↓ 8月 実証運行開始 (※実証運行期間は1年間を予定)
- ↓

(令和5年度)

- ↓ 7月 実証運行終了
- ↓ 8月 検証・評価
- ↓

本格運行 or 計画の見なおし